

【 サーベイ&フィードバックプロジェクト 】

サーベイ&フィードバックプロジェクト・リーダー 児玉靖司 経営学部教授

1 「学生による授業改善アンケート」について

(1) アンケート項目見直し

- ・「学生による授業改善アンケート」の項目について、回答の傾向をつかみ新たな項目を検討する。

(2) 集計方法の検討

- ・GPAとのクロス集計方法の検討をする。

(3) 特別集計の評価

- ・各学部・研究科などにおいて、授業種別のカテゴリを検討する。
- ・新たな特別集計方法を提案する。
- ・これまでに実施した特別集計について、集計方法の傾向等、カテゴリに分けまとめ紹介する。

(4) 集計結果の有効活用

- ・以上に関連して、授業改善に利用していただくため、「学生による授業改善アンケート」が他大学においてまた本学において有効に活用されている事例を集める。

(5) 学部・研究科の全学集計結果報告をまとめる。

2 学習結果の評価、フィードバックについて

(1) GPA制度

- ・各学部・研究科などの教育の主体が積極的にFD活動に取り組んでいただく支援をするため、他大学および本学各学部・研究科独自のGPA運用の実例をまとめ紹介する。

(2) 学習ポートフォリオ

- ・他プロジェクトと連携し、卒業時における学生の総合的な学力を、より具体的・立体的に示す方策（たとえば、digital portfolio）に関して、学外の実例をまとめる。

3 「学生による授業改善アンケート」のWeb化について

(1) 期首・期中のアンケートについて、予算化を含め、実現化を目指す。

(2) 期末アンケートについて、どのような形態でWeb化し実施するのがよいか検討する。